

「総合戦略」の概要



まち・ひと・しごと創生について、
広報かわまち3月号で、人口ピ
ジョンの概要についてお知らせしまし
た。今月号では、総合戦略の概要につ
いてお知らせします。

「住んでいてよかった」
そう思えるまちづくり

まち・ひと・しごと創生は、人
口減少と少子高齢化対策をあ
わせて行うことで、将来にわたって
活力ある日本社会を維持すること
を目指すものです。

総合戦略は、川俣町「人口ピ
ジョン」で定めた「平成52年に

1万人程度の人口を維持する」とい
う目標の達成に向けて、平成27年度
～平成31年度の5年間に集中して取
り組む施策をまとめたものです。

この総合戦略は、4つの基本目標
に基づく施策（本文下に記載）を推
進することで、目標人口の達成を目
指すとともに、町に関わりのある全
ての人や団体が「川俣町に住んでい
てよかった」「川俣町で働いていて
よかった」「川俣町に来てよかった」
という思いを共有できる社会づくり
を目指します。

【4つの基本目標と施策】

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚へつながる出会いの支援
妊娠から出産までの支援の充実
子育て世帯への経済的支援の充実
仕事と育児の両立をしやすい職場環境づくりの促進
地域全体で取り組む学校づくり
安全な遊び場の維持及び魅力の拡充



おてひめわくわくランド スタッフ 中村均さん（飯坂） ↑

川俣町への新しいひとの流れをつくる

主な取り組み

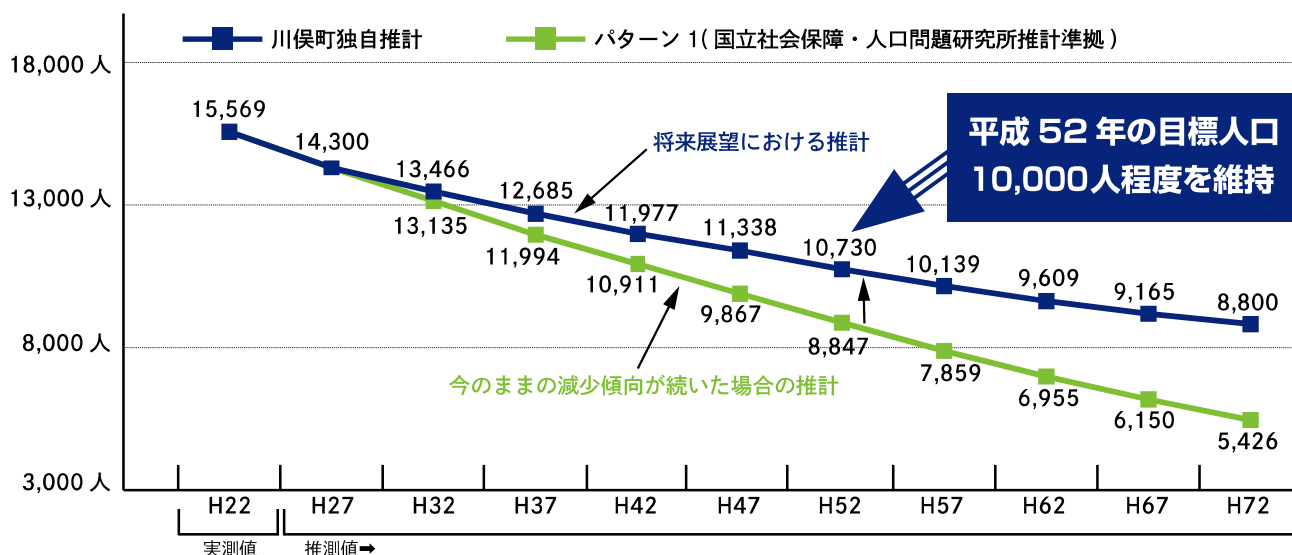
道の駅の魅力化と交流人口の拡大 ▶▶▶
地域おこし協力隊の導入
都市部学生インターンの活用
移住・定住に関する情報発信の強化
定住化促進総合対策事業の拡充
※ SNS を活用した積極的な情報発信



道の駅かわまち「シルクピア」店長 渡辺早苗さん（鶴沢） ↑

※ソーシャル・ネットワーキングサービスの略。インターネット上の交流を通して、社会的ネットワークを構築するサービスのこと。

【人口ビジョンにおける将来展望】



策定と推進体制



3月号でお知らせしました「人口ビジョン」と、今回の「総合戦略」の策定にあたっては、関係機関や有識者、住民団体の代表者などで構成する「川俣町地域創生推進会議」において、ご意見を伺いながら策定を進めました。また、アンケート調査やパブリックコメント（住民意見の募集）を実施し、広く町民のみなさんのご意見を反映するように努めました。

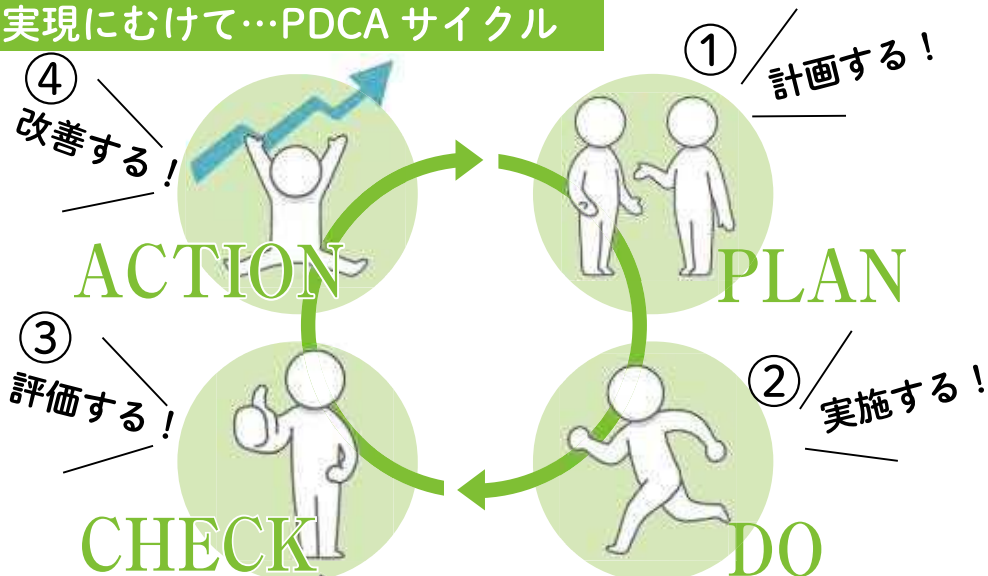
今後は、改善する仕組み（PDCA サイクル）に基づき定期的に進行管理を行い、川俣町地域創生推進会議における評価を行いながら、必要な軌道修正を行いつつ、総合戦略を推進していきます。

また、平成27年国勢調査の結果や平成29年度から始まる振興計画の後期基本計画の内容なども踏まえ、必要に応じて施策や総合戦略の見直しを行っていきます。

まち・ひと・しごと創生実現にむけて…PDCA サイクル

* PDCA サイクルとは？

PLAN（計画）、DO（実施）、CHECK（評価）、ACTION（改善）の4つの視点を、ものごと（今回は地方創生）を進める過程の中に取り込み、その過程を通して、ものごと（地方創生）の継続的な改善を推進することを目的にした管理手法のことです。



4 活力があり安心な暮らしを守るまちづくり

主な取り組み

中心商店街活性化の促進
空き家・空き地の一元管理体制の整備
公共交通の利便性向上
健康づくりの推進及び地域医療の充実
高齢者福祉の充実及びいきがづくりの創出
地域全体による防犯・防災体制の充実 ▶▶▶▶



絹の里見守り隊 橋本正男さん（小作）↑

川俣町における魅力ある雇用の場を創出する

主な取り組み

企業と高校生等との交流促進 ▶▶▶▶▶
介護・福祉人材の確保・育成
企業誘致活動の推進
ふるさと納税の推進による地場産業の活性化
6次化を志向する生産者の支援
地産地消等による地域内経済循環の促進



佐藤三郎さん（新中町）↑